



令和5年(2023)2月28日 No.11

教育長だより

生駒市教育委員会事務局
生駒市東新町8番38号
0743-74-1111(代)
文責 原井葉子

「平和学習WEEK」を実施！

2月6日～10日の1週間を「平和学習WEEK」として、毎日異なる視点から平和を考える授業を実施し、市内6校の小学校6年生が参加しました。3年前からコロナ禍で修学旅行の行き先が変更され、広島現地での平和学習が叶わなくなったことから、今回、現地の関係者、国際平和や教育に関わる方々の協力を得て、オンラインを通じた見学や講義、学校間の意見交流やワークショップを通して子どもたちが主体的に平和について考え、伝え合う活動を計画、実施しました。

〈5つの授業の内容と活動の特徴はこちらをクリック〉

<https://www.city.ikoma.lg.jp/0000031668.html>

なぜ戦争が起こるのか、争いの原因は身近なところにもあることに気付くとともに、ヒロシマは決して過去の出来事ではなく、今現在も世界中で多くの紛争や主義主張の対立が起こっている、その事を自分たちの問題として捉え、これからも平和な社会を守っていくために自分たちに何ができるのかを考える機会になったのではないかと思います。



戦時中、女学生で路面電車の車掌をしていた女性の話や、広島電鉄の社員から被ばく電車の歴史を聞く児童

「キャラベジ」でフードロス削減・食育を

2月21日(火)、俵口幼稚園の年長園児と保護者を対象に、「キャラベジ」ワークショップを開催しました。今回、全国初の取組として、本市と株式会社電通、生駒市農業振興協議会等の団体が連携し、地域園協働活動「えん・くろす」に取り組んでいる俵口幼稚園で実施されました。

最初に、電通のスタッフから、「フードロスについて知ってる？クイズ」をしていただき、毎日世界中でたくさんの食べ物が廃棄されていることを知りました。その後、市内農家の方に提供いただいた規格外野菜に、「面白い形の大根見つけた」「めがねも付けよう」と楽しそうに話しながらシールを貼ると、思わずクスッと笑顔になる個性派野菜に変身！これらの野菜は持ち帰って美味しく料理され、食卓に並んだことでしょう⇒



今回のワークショップでは、大きさや形、色など少し異なるだけでお店に並べられず廃棄されてしまう野菜に着目し、フードロス削減や食育について親子で学ぶ機会になりました。「どうして形が違う野菜は売ってはだめなの？」と、子どもの素直な感性を大切にできる社会にしていかなければならないことを感じました。

NHKニュースでも取り上げられたので、ぜひご覧ください。

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/nara/20230221/2050012869.html>

【今月のnote】



先月の教育長だよりで紹介した「やさしさの授業-みえない多様性-」の記事を掲載しました。取組のきっかけから、カードゲームの教材化に至る経緯、当日の流れや子どもたちの変容など、市内中学生約1,700人が参加した授業の詳細を伝えています。

<https://ikomacity-edu.note.jp/n/n4a6696955e7a>

生駒市教育委員会公式noteでは、市内学校の様々な取組を取り上げ、子どもたちの成長の様子や教育に関わる人々の思いなどをお届けしています。どうぞご一読ください。

「えん・くろす」では

今年度より、園を活用し地域活性化を進めるモデル事業として、なばた幼稚園と俵口幼稚園で地域園協働本部「えん・くろす」が発足。



子どもたちの遊びやおまつり、体操や英語などの課外教室、保護者の手芸教室やママサロン、市図書館と連携した出張図書館、地域の方による野菜やハンドメイドの朝市など、子どもたちの豊かな体験活動や保護者のニーズに応えるプログラムに園と保護者、地域の方々が協働で取り組んでいます。



↑地域の方にタブレットの使い方を教えていただく年長さん(なばた幼)
↓出張図書館で気軽に絵本の貸し出しを(俵口幼)



来年度は、小・中学校で実施している学校運営協議会(コミュニティ・スクール)を、この2園にも導入し、継続的に取組を進めてまいります。